

手軽で簡単な動画ポートフォリオを活用した授業改善

兵庫県三田市立ゆりのき台小学校 教諭 歳内 利裕

Yurinokiai_sho@mail01.area-sanda-hyogo.jp

http://www.hyogo-c.ed.jp/~cec2005_yurinoki/

キーワード：小学校、6年生、総合、動画、ポートフォリオ、デジタルカメラ、スマートボード

1. はじめに

近年、学校ではビデオカメラの普及に伴って、動画を活用した学習指導が試みられるようになってきた。しかし、学習環境の構築や編集作業等に多くの時間と労力を要し、教員の負担が大きいので、日常的に手軽に活用されるまでには至っていない。動画を用いたポートフォリオを日常的に授業で活用していくためには、少ない労力で、誰にとっても手軽であり、簡単に行える必要がある。

本実践では、デジタルカメラとPC、スマートボードとプロジェクターを用いて、手軽で簡単に動画ポートフォリオを活用した学習指導ができるシステム作りをめざした。さらに総合的な学習の時間において、この動画ポートフォリオを活用した授業を実践し、ICT機器の活用が児童の学習活動を促進するのに貢献できるのかを検証した。

2. 動画ポートフォリオシステムの構築

動画ポートフォリオシステムの構築に当たっては、デジタルカメラの動画機能を活用した。デジタルカメラの場合、テープではなくSDカードなどのメモリーカードに動画クリップとして直接保存されるので、撮影に失敗しても消去や取り直しが容易で、児童にとっても手軽で扱いやすい。また自動的に動画ファイルが連番で作成されるので、SDカード内に閲覧用Webページを構築することができ、(図1)学習の内容や目的に応じて作り替えることも可能である。このデジタルカメラとPCさえあれば、学習活動を簡単に記録、閲覧できるシステムである。本実践においては、6年生が1年生に「掃除の仕方」を伝えるために使用したので、6年生児童がPCを操作しながら説明する必要があり、より学習効果を上げるためにスマートボードとプロジェクターも併用した。(写真1)



図1 SDカード内に構築したWebページ



写真1 スマートボードで説明する児童

3. 実践内容

実践内容は以下の①～⑩。

- ① 1年生に伝える掃除の内容を具体的に考える。
(ほうきの持ち方、はき方、ゴミの集め方、机いすの運び方、黒板の掃除の仕方、道具のしまい方、など)
- ② 伝える内容ごとに班を構成し、班に1台のデジタルカメラを割り当てる。
- ③ デジタルカメラの撮影方法を理解する。
- ④ PCへの接続と閲覧方法を理解する。
- ⑤ 撮影に失敗した際の修正の仕方を理解する。
- ⑥ デジタルカメラの動画機能で、実際の掃除の場面を撮影する。(写真2)
- ⑦ 発表原稿を作成し、交流会でお互いの発表を聞き合い、アドバイスカードを使って相互評価を行う。(写真3)なお交流会は参観日に行い、保護者からの評価も取り入れた。(評価の観点は、声の大きさ、立ち位置、役割分担、ICT機器操作、1年生にとって理解しやすい説明か、など)
- ⑧ アドバイスカードをもとに、内容を再構成する。



写真2 掃除の仕方を撮影する

⑨1年生の掃除の仕方を伝える。

⑩学習の振り返り活動。

4. 実践結果

掃除の仕方を伝えるために動画ポートフォリオを活用したことは、1年生にとって視覚的にも分かりやすく、内容を理解しやすかったようである。(1年生担任の感想より)授業実践後、6年生には今までのポートフォリオと本実践の動画ポートフォリオとの違いを文章記述させた。事後のアンケート調査(6年生37人)では、「見やすい」と記述した児童が29人。「スマートボードが有効」が23人、「1年生に理解しやすかった」が21人。「詳しく説明できた」が19人。「操作が簡単」が15人。「何度も取り直しが可能」が10人。「ずっと保存できる」が9人。「今までより見る回数が増えた」が6人。「見てほしい瞬間が撮れる」が4人であった(図2)。この結果から、動画ポートフォリオは、児童の学習を促進することにたいへん有効であったといえる。またスマートボードとプロジェクターを活用したことでPCを操作しながらの発表が容易になり、動画を途中で止めたり、書き込んだりして説明できたことが効果的だった感じている児童が多いことも分かる。スマートボードは初めて活用する機器であったので、児童が機器の特性を理解し、学習効果を上げることができると心配された。しかし児童はすぐに機器操作を覚え、その特性を理解して楽しく学習に取り組めたようである。



写真3 交流会で相互評価を行う

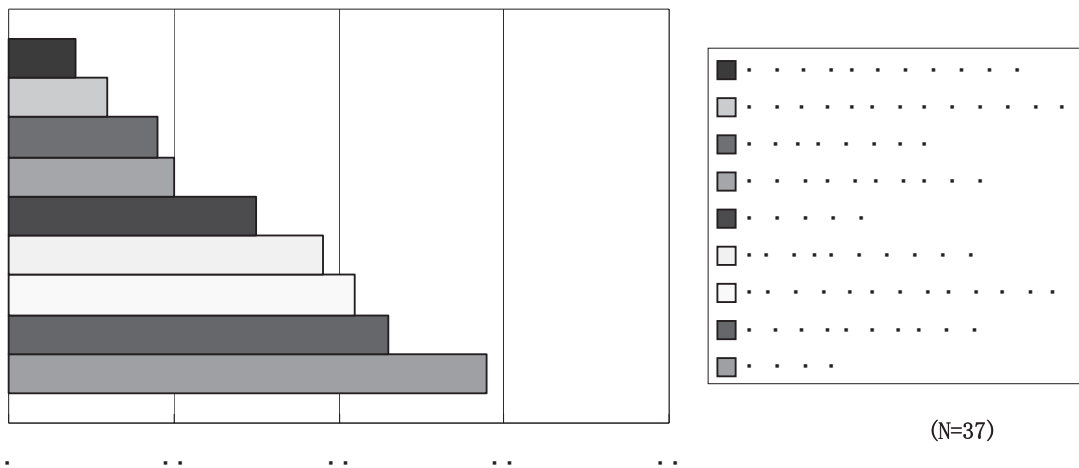


図2 アンケート結果

5. 今後の課題等

動画ポートフォリオを活用した学習支援によって、次のような効果が認められた。

- ・ 手軽で簡単に動画ポートフォリオを蓄積し、活用することができるシステムが実現した。
- ・ 児童は自分の学習活動を客観的に見ることができるので、自分なりのめあてを持ちながら意欲的に学習できた。特にスマートボードとプロジェクターの併用は有効である。
- ・ グループ活動として活用することで、自己評価や相互評価がしやすいので、友だち同士で容易にアドバイスし合えた。保護者からもアドバイスがもられた。
- ・ 教員は動画ポートフォリオを作成するために多くの労力を費やすことなく、動画ポートフォリオの閲覧に十分時間を費やすことができた。このことにより、児童一人一人の成長やつまずきがわかり、適切な支援ができた。

すなわち、手軽で簡単なデジタルポートフォリオを活用することで、児童は容易に自己評価や相互評価を行うことができるようになり、児童の学習に対する興味・関心・意欲の向上を促し、主体的に学習に取り組む姿勢を引き出すことができたのである。また、教員は、児童の成長やつまずきをとらえながら、容易に適切な学習支援を行うことができた。今後は、教員のスキルやリテラシーを研修会等で向上させると共に、総合学習、体育だけでなく、音楽、図工、家庭科などの実技教科、国語の朗読や社会における調べ学習などでも活用できるように実践を深めたいと考えている。